

【14】-1. 会計連動オプション（勘定奉行i8）

会計連動オプション機能を導入することで、弥生会計、勘定奉行、大蔵大臣との仕訳連動が可能となります。
勘定奉行は21シリーズとi8シリーズに対応しています。
以降、21シリーズを「奉行」、i8シリーズを「奉行 i」と記載します。また、大蔵大臣は「大臣」と記載します。
当資料では、「奉行 i」に関しての連動オプションを説明します。

1. 概要説明

1) 仕訳対象となるデータ

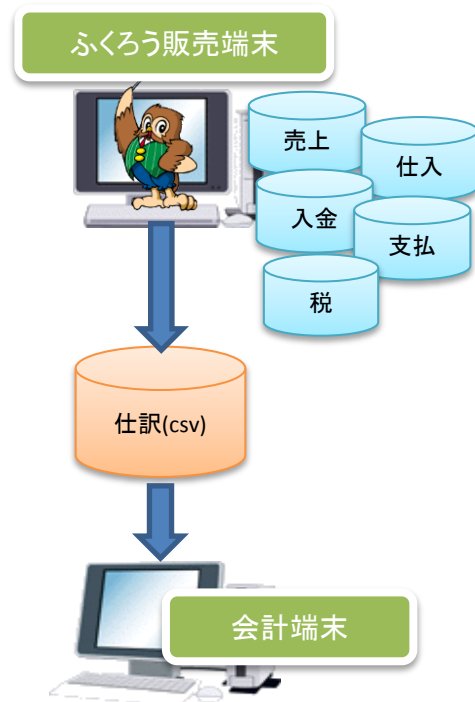
- ◆ ふくろう販売の各伝票入力画面（売上、仕入、入金、支払入力）から登録した各データ
- ◆ 請求締切処理または支払締切処理で作成される一括消費税データ

各伝票入力画面では明細で「伝区」（伝票区分）が指定でき、この伝区ごとに仕訳科目が設定されます。

※以降、資料内には仕入、支払、仕入先、買掛、前払の記述がでてきますが、
建機レンタル版で仕入管理オプション未導入の場合は、対象外となります。

◇ 売上入力、入金入力画面例

2) 仕訳データ連動処理の流れ



① ふくろう販売の伝票登録（売上、仕入、入金、支払入力）
処理等で、各伝票データが日々蓄積されます。

② ふくろう販売の仕訳作成処理で、会計ソフト側の
インポート形式に対応した仕訳データが作成されます。

③ 会計端末側で、仕訳ファイルをインポートします。

※ ふくろう販売端末、会計端末は同一端末でも異なる端末でも作業できます。

※ ふくろう販売側で補助科目や取引先を追加、修正した場合、会計ソフト側も同様の修正が必要です。

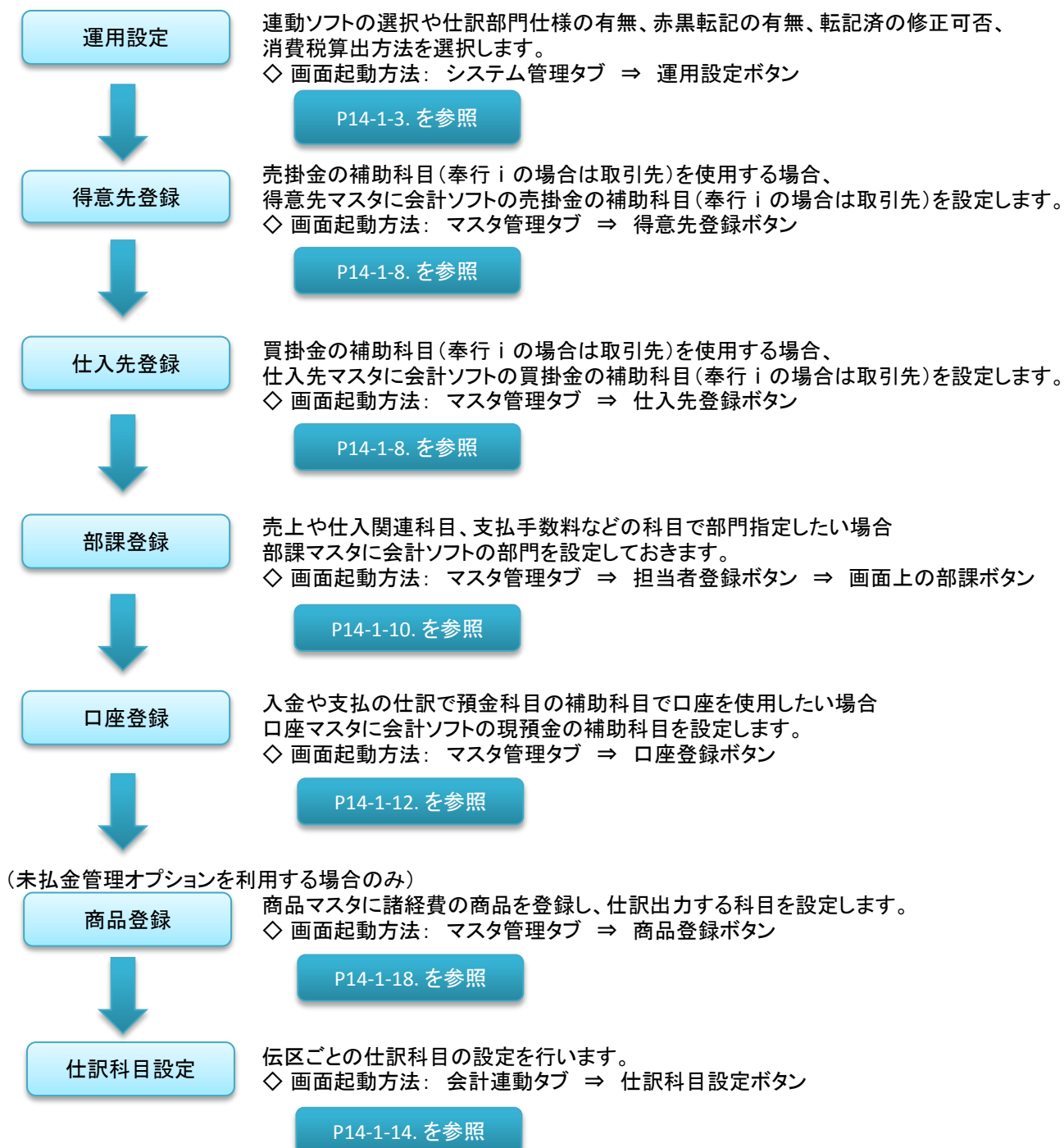
3) 設定できる補助科目、取引先、部門

- ◆ 奉行 i 連動では、得意先、仕入先は補助科目ではなく「取引先」として連動できます。
- ◆ 売上や仕入関連科目の部門を使用する場合、ふくろうの部課を部門として連動できます。
- ◆ 入金や支払の預金の補助科目として口座を使用する場合、ふくろうの口座を補助科目として連動できます。

会計連動オプションが有効になると、各マスタ画面で補助科目や取引先が指定できるようになりますので、会計ソフト側で設定しているものと同じ内容で設定します。

4) 会計連動 運用開始までの流れ

会計連動を導入するには以下の流れで設定を行います。



以上の設定を完了すると、運用が開始できます。

2. 会計連動 運用開始するための登録・設定

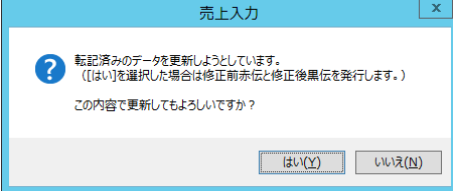
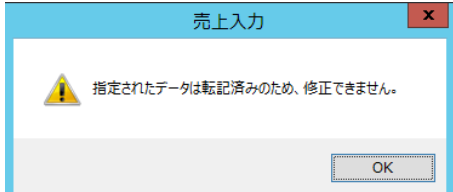
1) 運用設定での会計連動設定

- ① 会計連動設定画面にて、連動ソフトの選択や仕訳部門の使用有無、赤黒転記の有無、転記済の伝票修正可否などを設定できます。

◇ 運用設定画面：システム管理タブ ⇒ 運用設定ボタン ⇒ 画面上の会計連動ボタン
運用設定画面上部の「会計連動」ボタンを押下します。

以下の画面で各項目の設定をします。

項目名称	説明
連動会計ソフト	<p>連動する会計ソフトが選択されています。</p> <p>※システム導入時にあらかじめ設定されており、変更はできません。</p>
仕訳部門	<p>会計連動を行う場合、部門を使用するかどうか選択できます。</p> <p>「する」にした場合は、部課マスタにて補助科目を指定できるようになり、会計側の部門がマスタに指定できるようになります。</p> <p>部門の設定はP14-1-10. を参照</p>
赤黒転記	<p>伝票修正、削除時に赤伝黒伝仕訳(修正仕訳)作成を行うかどうかを選択します。</p> <p>※すでに登録されている伝票が存在する場合、変更はできません。</p> <p>◆ 赤黒転記とは・・・</p> <p>例) 一度仕訳作成済の売上で、100円を150円と金額訂正した場合 再度同一売上を仕訳すると以下のような赤黒仕訳が作成されます。</p> <p>売掛金 -100円 / 売上高 -100円 ⇒ 赤 売掛金 150円 / 売上高 150円 ⇒ 黒</p> <p>※伝票削除の場合は、赤明細のみが仕訳されます。 ※赤黒転記しない場合は、黒明細のが仕訳されます。</p>

項目名称	説明
転記済み伝票の修正	<p>会計ソフトへの仕訳連動を使用している場合、転記済みの伝票の修正を認めるか認めないかを選択します。 設定は運用途中いつでも変更可能です。</p> <p>◆ 「する」を選択している場合・・・ 転記済の伝票を修正、削除しようとした場合、以下のような警告表示されますが更新は可能となります。</p>  <p>◆ 「しない」を選択している場合・・・ 転記済の伝票を修正、削除しようとした場合、以下のような警告表示され更新は不可となります。</p> 

※「奉行i」を選択する場合は、以下の「奉行設定」項目も合わせて設定します。
各桁数は勘定奉行側で設定している桁数と同一に設定してください。
ふくろう側ではその桁数以下の桁数で各値を設定します。

項目名称	説明
勘定科目コード桁数	勘定奉行のメニュー「導入設定」⇒「2. 運用設定」⇒「1. 会社運用設定」
補助科目コード桁数	画面を開き、「桁数設定」タブで指定してある各桁数を設定してください。
部門コード桁数	
取引先コード桁数	
伝票No桁数	伝票No桁数は同画面の「伝票設定」タブで指定されています。

② 運用設定画面で、消費税の調整法を設定します。

◇ 運用設定画面：システム管理タブ ⇒ 運用設定ボタン

以下の設定箇所です。税算出法が「一括税」か「調整税」かを選択できます。

1	導入開始日	2014/09/01	ふくろう販売の本番開始日です。導入後に変更不可になる項目もあります。
2	決算月	0899	会社の決算月日です。mmdd形式で指定してください。（日部分は1～
3	入力可能年月日自	2010/09/01	これ以降の日付の伝票のみ登録できます。誤登録を防ぐために使用
4	入力可能年月日至	2999/12/31	これ以前の日付の伝票のみ登録できます。誤登録を防ぐために使用
5	受発注入力可能年月日自	2011/09/01	これ以降の日付の伝票のみ登録できます。誤登録を防ぐために使用
6	受発注入力可能年月日至	2999/12/31	これ以前の日付の伝票のみ登録できます。誤登録を防ぐために使用
7	税算出法	一括税	会計連動している場合に会計に流れる消費税の単位を指定します
8	税計算方法	請求(支払)時外税	得意先、仕入先の新規登録時初期値です
9	消費税コード	7501010	消費税のコードです

税算出法とは・・・

得意先や仕入先の税転嫁が請求時・支払時の一括消費税計算である場合で仕訳作成するときの消費税計算方式を選択できます。

- ◆ 一括税： 締切処理で作成した消費税伝票の消費税を表示します。
締切処理をするまでは消費税の仕訳が作成・転記されません。
- ◆ 調整税： 明細行ごとの消費税を表示します。
明細行ごとの消費税を集計するので締切前でも消費税額を確認することができます。

消費税算出方法詳細は次項を参照

税算出法と消費税仕訳の関係について

例：得意先の設定が、毎月20日締の請求時外税計算、税端数処理は切捨てである場合を例に説明します。

売上入力

- ① 3月1日 に売上入力にて以下の3行の明細が入力されたとします。

明細消費税(A)は明細単位でシステム内部で保持していますが画面では表示されません。

明細情報									明細消費税	
行No	削除	伝区	商品コード			種別	売上原単価	売上原価		
		出荷	品名	売上数量	単位	売上単価	売上金額			
1	<input type="checkbox"/>	掛売上	1 テスト商品		1.000		0.000 70.000	0 70	¥5	A
2	<input type="checkbox"/>	掛売上	1 テスト商品		1.000		0.000 70.000	0 70	¥5	
3	<input type="checkbox"/>	掛売上	1 テスト商品		1.000		0.000 70.000	0 70	¥5	
		掛売上ト					0.000	0		

- ② 3月20日 に請求締切処理をしたとします。

請求締切処理後、売上入力画面で確認すると消費税伝票(伝票Noオール9)が自動作成されています。

明細は以下のように消費税明細が自動作成され、計上日は3月20日となります。

金額は売上合計¥210に対する請求時消費税¥16が計上されます。

請求対象である売上の明細消費税合計¥15(A)との差額¥1が内部的に明細消費税(B)にセットされます。

明細情報								明細消費税	
行No	削除	伝区 出荷	商品コード 品名	売上数量	種別 単位	売上原単価 売上単価	売上原価 消費税額		
256	<input type="checkbox"/>	税掛請	ZEIKIN 消費税	0.000		0.000 0.000	0 16	¥1	B

- ③ 請求締切日以降の3月30日 に以下の1行の明細が入力されたとします。

明細消費税(C)は①同様に内部的に¥5がセットされますが画面では表示されません。

明細情報								明細消費税	
行No	削除	伝区 出荷	商品コード 品名	売上数量	種別 単位	売上原単価 売上単価	売上原価 売上金額		
1	<input type="checkbox"/>	掛売上	1 テスト商品	1.000		0.000 70.000	0 70	¥5	C
掛売上ト									

仕訳作成

上記売上データを一括税、調整税それぞれで仕訳した場合の仕訳イメージです。

※ 仕訳作成は毎日実行しており、伝票別転記方式と仮定します。

◆「一括税」設定での仕訳の場合

- ① 3月1日 の仕訳

売掛金	¥210	／	売上高	¥210
			貸方消費税	¥0

通常伝票は奉行の税処理区分が「税抜金額からの計算」で設定されますが消費税はセットされません

- ② 3月20日 の仕訳

売掛金	¥16	／	売上高	¥16
			(内消費税)	(¥16)

消費税伝票は奉行の税処理区分が「税込金額からの計算」で設定され全額消費税で仕訳されます。

- ③ 3月30日 の仕訳

売掛金	¥70	／	売上高	¥70
			貸方消費税	(¥0)

①同様、消費税はセットされません。
結果、奉行側で3/1～3/31で集計すると消費税は②の額となります。

◆「調整税」設定での仕訳の場合

- ① 3月1日 の仕訳

売掛金	¥225	／	売上高	¥210
			貸方消費税	¥15

通常伝票は奉行の税処理区分が「税抜金額からの計算」で設定されますが消費税は[A]がセットされます

- ② 3月20日 の仕訳

売掛金	¥1	／	売上高	¥1
			(内消費税)	(¥1)

消費税伝票は奉行の税処理区分が「税込金額からの計算」で設定され全額[B]の調整税がセットされます。

- ③ 3月30日 の仕訳

売掛金	¥75	／	売上高	¥70
			貸方消費税	¥5

①同様、消費税は[C]がセットされます。
結果、奉行側で3/1～3/31で集計すると消費税は[A]+[B]+[C]の額となります。

※内税の得意先の場合は、通常伝票も「税込金額からの計算」で仕訳されます。

【14】-1. 会計連動オプション（勘定奉行i8）

◇ 税区分コード

奉行i8には下の画面のような税区分コードがあります。

税区分登録

〇〇〇商事株式会社 会計期間: 2015年 4月 1日 ~ 2016年 3月 31日

登録件数 33

参照

コード	税区分名
0010	課税売上分課税仕入

属性登録

コード	申告書計算区分名	貸借区分	事業区分
0010	課税売上分課税仕入	借方	使用しない

税区分略称	背景色	使用区分
課仕入	2 緑	1 使用

操作ガイド

登録済みの内容が表示されます。
修正または削除する場合に選択します。

コード	税区分名	申告書計算区分名	貸借区分	事業区分
0000	対象外	対象外		
0001	非課税仕入	非課税仕入	借方	
0002	不課税仕入	対象外	借方	
0003	不課税売上	対象外	貸方	
0010	課税売上分課税仕入	課税売上分課税仕入	借方	
0011	非課税売上分課税仕入	非課税売上分課税仕入	借方	
0012	共通売上分課税仕入	共通売上分課税仕入	借方	
0020	課税売上分課税仕入の返還等	課税売上分課税仕入の返還等	貸方	
0021	非課税売上分課税仕入の返還等	非課税売上分課税仕入の返還等	貸方	
0022	共通売上分課税仕入の返還等	共通売上分課税仕入の返還等	貸方	
0030	課税売上分新車購入	課税売上分新車購入	借方	
0031	非課税売上分新車購入	非課税売上分新車購入	借方	
0032	共通売上分新車購入	共通売上分新車購入	借方	
0040	課税売上分新車購入の返還等	課税売上分新車購入の返還等	貸方	
0041	非課税売上分新車購入の返還等	非課税売上分新車購入の返還等	貸方	
0042	共通売上分新車購入の返還等	共通売上分新車購入の返還等	貸方	
0050	課税売上分輸入仕入の消費税	課税売上分輸入仕入の消費税	借方	
0051	非課税売上分輸入仕入の消費税	非課税売上分輸入仕入の消費税	借方	
0052	共通売上分輸入仕入の消費税	共通売上分輸入仕入の消費税	借方	
0053	輸入仕入の地方消費税	輸入仕入の地方消費税	借方	
0060	課税売上	課税売上	貸方	
0061	課税売上の返還等	課税売上の返還等	借方	
0062	課税売上の貸倒れ	課税売上の貸倒れ	借方	
0063	課税売上の貸倒れ回収	課税売上の貸倒れ回収	貸方	
0070	新車売上	新車売上	貸方	
0071	新車売上の返還等	新車売上の返還等	借方	
0072	新車売上の貸倒れ	新車売上の貸倒れ	借方	
0073	新車売上の貸倒れ回収	新車売上の貸倒れ回収	貸方	
0080	非課税売上	非課税売上	貸方	
0081	有価証券の譲渡	有価証券の譲渡	貸方	
0090	課税輸出売上(免税売上)	課税輸出売上(免税売上)	貸方	
0091	非課税輸出売上	非課税輸出売上	貸方	
9999	未確定	対象外	借方	

通常、ふくろうのQ2(標準課税仕入)には「0010」を指定します

通常、ふくろうのA2(標準課税売上)には「0060」を指定します

仕訳データでは、ふくろう販売の「消費税率登録」で登録したコードが出力されます。
通常は「A2:標準課税売上」には「0060」、「Q2:標準課税仕入」には「0010」を設定します。

「システム管理」→「消費税率登録」

消費税率登録

課税区分指定

課税区分 A2:標準課税売上 表示 課税区分追加(A) 課税区分削除(D)

基本情報

課税区分分類 売上 課税区分名 標準課税売上 略名 課売

仮払仮受区分 仮受消費税 備考 奉行i用税区分 0060

施行日別税率

削除	施行日	消費税率(%)
<input type="checkbox"/>	1989/04/01	3
<input type="checkbox"/>	1997/04/01	5
<input type="checkbox"/>	2014/04/01	8
<input type="checkbox"/>	2017/04/01	10

【課税区分分類】リストから選択します

更新 F6 終了 F12

ふくろう販売の消費税率登録で奉行i用税区分を登録しなかった場合、税区分コードは空白で仕訳データには出力され、取り込み後の仕訳には奉行i8側で日付によって自動判定された税区分コードが設定されます。

奉行に渡す課税区分コードを通常の課税売上などから変えたい場合は(課税輸出売上など)、消費税率登録で課税区分を追加後、追加した課税区分に目的の奉行i用税区分をセットします。

【14】-1. 会計連動オプション（勘定奉行i8）

ふくろうの売上傳票、仕入伝票の税区分は商品マスタの税区分が初期設定されます。
売上傳票、仕入伝票の明細行の税区分は入力時に変更可能です。
（選択する税区分は消費税率登録にて追加、変更できます）

「マスタ管理」→「商品登録」

商品登録

修正 コード 01-0000 登録済みの商品コードを指定すると修正モードになります

品名 テスト製品 品名2
カナ テスト製品 略名 テスト製品 単位
在庫管理要否 必要 倉庫 0000 共通倉庫
事業所
使用区分 ☒ 使用する ☐ 使用しない 完成品/ロット品 完成品
商品分類
商品区分 区分1 区分2 区分3 区分4 区分5
商品種別 発注 仕入 受注 売上 入出庫 生産
単位重量 0 重量単位 リットタイム 0 日
標準入数 0 発注ロット 0
諸経費区分 ☐ 諸経費
借方科目 補助科目 ☐ 使用する
課税区分 売上 課売 仕入 課仕 通貨 JPY
金額端数区分 切り捨て 掛率使用要否 必要
売上原価計算法 標準原価 棚卸評価法 標準原価
予定数量管理要否 不要 償却予定数量 52.30

売上傳票の明細行（仕入も同じ）

明細情報	行No	削除	伝区	商品コード	品名2	倉庫コード	倉庫略名	種別	売上数量	売上単価	売上原価	売上金額	備考	仕入先	仕入略名	税区分
	1	<input type="checkbox"/>	掛売上	01-0000	テスト製品	0000	共通倉庫		0.00	100,000.00	0	0				課売
	*	<input type="checkbox"/>	掛売上						0.00	0.00	0	0				

2) 得意先登録、仕入先登録での設定

① 取引先概要

奉行 i 8 では、売掛金、買掛金の仕訳は補助科目ではなく「取引先」を使用して仕訳連動されます。
（取引先は伝票別転記または取引先別転記の場合のみ有効となります）

【「取引先」を使用する理由】

補助科目コードは数値4桁であるため、ふくろう販売の得意先・仕入先コードとの紐付けが困難で、また、補助科目数が多い場合に4桁でのコード付番には支障がありましたが、取引先コードは英数字13桁で付番可能となっているためこれらの問題が解消されています。

また、取引先は補助科目とは別の位置づけで利用できるもので、貸借両側にセットして仕訳されます。通常は、売掛金、買掛金などの科目に補助科目を設定し、補助科目別の残高試算表や元帳を参照しますが、取引先を使用しても同様の管理が可能であると同時に、相手側の売上や仕入系科目にもセットすることで勘定奉行側で取引先別に売上や仕入、売上原価を集計するために使用できます。以上のことから、ふくろう販売では取引先での仕訳連動を標準としています。

設定できる取引先の種類

ふくろうの仕訳設定で指定できる取引先は以下の3種類あります。

[1] 得意先の取引先 : 売上系の仕訳設定で選択できます。
得意先登録で指定している取引先コードを採用して仕訳時にセットします。

- ・ 売上系仕訳の取引先 … 全仕訳において、得意先の取引先を両科目にセットします。

売掛金 [1]得意先の取引先	／ 売上高 [1]得意先の取引先
-------------------	---------------------

売掛金や現金、前受金側の取引先は得意先がセットされ、残高管理ができます。
売上系科目側の取引先も得意先がセットされ、売上管理ができます。
※入金相殺の場合は、借方には仕入の取引先がセットされます。

[2] 仕入先の取引先 : 仕入系の仕訳設定で選択できます。
仕入先登録で指定している取引先コードを採用して仕訳時にセットします。

[3] 受注時の得意先の取引先 : 仕入系の仕訳設定で選択できます。
仕入が受注No指定で処理されている場合、その受注の得意先で設定されている取引先を採用して仕訳時にセットします。
※ふくろうでの受注処理が必須となります。

- ・ 仕入系仕訳の取引先 … 仕入側には受注得意先、買掛金側には仕入先の取引先をセットします。

仕入高 [3]受注得意先の取引先	／ 買掛金 [2]仕入先の取引先
---------------------	---------------------

買掛金や現金、前払金側の取引先は仕入先がセットされ、残高管理ができます。
仕入系科目側の取引先は受注得意先がセットされ、売上原価管理ができます。

◇ 取引先一覧表画面：勘定奉行メニュー「会計帳票」⇒「6. 一覧表」⇒「1. 取引先一覧表」
以下のように取引先別に売上と、それに関わる仕入が対比できます。
※ふくろうでの受注処理が必須となります。

取引先一覧表					
〇 B C 商事株式会社			会計期間：2014年 4月 1日 ～ 2015年 3月 31日		
集計期間		自 2014年 4月 1日 至 2015年 3月 31日		税処理	税込
				集計方法	
コード	取引先名	売上高	売上値引き及び戻り高	仕入高	仕入値引き及び戻し高
00000001	太平洋販売株式会社	1,047,310,024	68,340	729,115,657	0
00000002	株式会社岩手産業	705,027,525	851,000	141,900,000	0
00000003	株式会社茨城電機	316,394,040	0	145,700,000	0
00000004	群馬事務機株式会社	315,466,120	195,000	41,500,000	0
00000005	埼玉商事株式会社	732,264,070	465,820	24,200,000	0
00000006	株式会社千葉デンキ	246,411,399	28,080	149,000,000	0
00000007	東京事務機販売株式会社	687,008,788	0	302,100,000	0
00000008	神奈川物産株式会社	397,831,915	0	35,200,000	0
00000009	新潟工業株式会社	168,858,640	236,250	105,100,000	0

② 画面での取引先設定方法

◇ 得意先登録画面

奉行 i 8側に登録している取引先コードを指定します。
英数字で、運用設定で指定した桁数まで(最大13桁)指定できます。

納品書種類	売上伝票タイプ	即時発行区分	伝票機能による
請求書種類	標準	海外文書(受注)	Order Confirmation
手数料負担	当方	手形サイト	0 日
取引口座		相殺仕入先	
		奉行取引先	991

◇ 仕入先登録画面

奉行 i 8側に登録している取引先コードを指定します。
英数字で、運用設定で指定した桁数まで(最大13桁)指定できます。

注文書種類	標準	即時発行区分	伝票機能による
手数料負担	先方	手形サイト	0 日
取引口座		相殺得意先	
		奉行取引先	992

【注意点】

- ・ すでに勘定奉行 i 8をご利用で、売掛金の補助科目をご利用の場合は、取引先への再登録および取引先別の開始残高登録が必要となります。
(取引先残高の登録方法は奉行マニュアルを参照してください)

また、奉行側の設定で売掛金の補助科目の未入力チェックを外す必要があります。

- ・ [仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[科目別マスター入力設定]メニューを選択します。
- ・ 「マスター種類選択」画面で「補助科目」を選択します。
- ・ 科目マスター入力設定画面で「売掛金」を選択して未入力確認「しない」に変更して登録します。

マスター種類	補助科目
修正	
コード	勘定科目名
135	売掛金
	未入力確認
	しない

- ・ ふくろう販売の得意先・仕入先コードと取引先コードは同一とする方が運用はしやすくなります。
- ・ 奉行で取引先コードを数字のみで指定した場合、先頭に0が自動付加されます。
ふくろう側で同様に数字のみで指定する場合は、先頭の0詰め指定は不要です。
(インポート時に自動で0が付加され判定されます)
- ・ 異なる得意先で同じ取引先コードを指定することは可能です。
登録ボタン押下時に重複チェックされ、重複している場合は以下の警告が表示されますがそのまま登録も可能です。

得意先登録		×
?	奉行取引先「991」は他の得意先「1 : テスト得意先」で既に使用されていますがよろしいですか？	
		はい(Y) いいえ(N)

4) 部課登録での設定

① 部門仕訳概要

奉行 i 8側で部門別仕訳をしている場合、売上や仕入関連の仕訳時に奉行 i 8に登録している部門コードをセットして仕訳連動できます。

部門コードを使用する場合は運用設定で部門の使用を「する」に設定する必要があります。

運用設定はP14-1-3.を参照

部門設定すると、以下のように仕訳されます。

例) 第一営業部で、テスト商事に掛売で100円売上が発生した。(調整税。税率8%)

仕訳処理

〇Ｂ〇商事株式会社 会計期間：2014年 4月 1日

参照		通常伝票		振替伝票		伝票No. 000248		伝票件数	
伝票日付		15 年 3 月 31 日						明細件数	
行	借 方			貸 方					
	部 門 / 勘定科目 / 補助科目	金 額		部 門 / 勘定科目 / 補助科目	金 額				
	取引先			取引先					
1	000 その他			001 第一営業部			1		
	135 売掛金	108 500		売上高	課売上 8.0%		100 8		
	00000991 テスト商事			00000991 テスト商事					
2									
	借方合計			108		貸方合計			108
						貸借差額			0

「新規」：2015/05/19 18:03:52 「汎用データ受入」

部門セットされる仕訳(初期設定)

初期設定は、以下表の部門に「○」がある箇所には部門がセットされ仕訳されます。

◇ 売上系の仕訳 部門初期設定

※以下は売掛金に対する売上や入金 of 仕訳例です。

※掛売上の処理が現金処理となる場合は売掛金が現金(100)、前受処理の場合は前受金(340)となります。

処理	伝区	借方科目/コード	部門	貸方科目/コード	部門
掛売上	掛売上	売掛金/135		売上高/500	○
	掛返品	売上値引・戻り/515	○	売掛金/135	
	掛値引	売上値引・戻り/515	○	売掛金/135	
	掛経費	売掛金/135		雑収入/820	○
	税掛伝	売掛金/135		売上高/500	○
	税掛請	売掛金/135		売上高/500	○
掛入金	振込入金	当座預金/110		売掛金/135	
	振込料	支払手数料/753	○	売掛金/135	
	現金入金	現金/100		売掛金/135	
	小切手入金	現金/100		売掛金/135	
	手形入金	受取手形/130		売掛金/135	
	値引	売上値引・戻り/515	○	売掛金/135	
	相殺	買掛金/305		売掛金/135	

◇ 仕入系の仕訳 部門初期設定

※以下は買掛金に対する仕入や支払の仕訳例です。

※掛仕入の処理が現金処理となる場合は買掛金が現金(100)、前払処理の場合は前払金(170)となります。

※諸経費の借方科目にはダミー(9999)が設定されていますが、出力値は商品登録の借方科目コードです。

処理	伝区	借方科目/コード	部門	貸方科目/コード	部門
掛仕入	掛仕入	仕入高/604	○	買掛金/305	
	掛仕返品	買掛金/305		仕入値引・戻し/612	○
	掛値引	買掛金/305		仕入値引・戻し/612	○
	掛経費	雑費/782	○	買掛金/305	
	諸経費	(タミ-)/9999	○	未払金/315	
	税掛伝	仕入高/604	○	買掛金/305	
	税掛支	仕入高/604	○	買掛金/305	
掛支払	振込支払	買掛金/305		当座預金/110	
	振込料	支払手数料/753	○	買掛金/305	
	現金支払	買掛金/305		現金/100	
	小切手支払	買掛金/305		当座預金/110	
	手形支払	買掛金/305		支払手形/300	
	値引	買掛金/305		仕入値引・戻し/612	○

② 画面での部門設定方法

- ◇ 部課登録画面：マスタ管理タブ ⇒ 担当者登録 ⇒ 画面上の「部課」ボタン
 奉行 i 8側に登録している部門コードを指定します。
 数字で、運用設定で指定した桁数まで（最大4桁）指定できます。

削除	事業所	部課コード	部課名	部課略名	奉行部門
<input type="checkbox"/>	本社	0001	本社	本社	1210

【注意点】

- ・ 奉行で部門コードを数字のみで指定した場合、先頭に0が自動付加されます。
 ふくろう側で同様に数字のみで指定する場合は、先頭の0詰め指定は不要です。
 （インポート時に自動で0が付加され判定されます）
- ・ 異なる部課で同じ部門コードを指定することは可能です。
 登録ボタン押下時に重複チェックされ、重複している場合は警告が表示されますが
 そのまま登録も可能です。

③ ふくろう販売での部門の採用方法

ふくろう販売では売上、仕入、入金、支払入力画面で指定された「担当者」から部門を判定します。
 担当者は必ず一つの「部課」に所属します。その部課に設定されている「奉行部門コード」を
 仕訳にセットします。

担当者から部課が決定されます。

部課から奉行部門が決定します。

【14】-1. 会計連動オプション（勘定奉行i8）

5) 口座登録での設定

① 口座を使用した仕訳概要

奉行 i 8側で預金科目の補助科目で口座を使用している場合、入金や支払の仕訳時に奉行 i 8に登録している補助科目コードをセットして仕訳連動できます。

補助科目コードを設定すると、以下のように仕訳されます。

例) 太平洋販売株式会社に売掛金に対して、普通預金 りそな銀行吹田支店に100円の振込入金が発生した。

仕訳処理					
OBC商事株式会社				会計期間: 2015年 4月 1日	
参照		通常伝票	振替伝票	伝票No.	000003
伝票日付		15年 6月 30日		伝票件数 明細件数	
行	借方	金額	貸方	金額	
	部 門 / 勘定科目 / 補助科目		部 門 / 勘定科目 / 補助科目		
	取引先		取引先		
1	000 その他		000 その他		1
	111 普通預金	100	135 売掛金	100	
	008 りそな銀行吹田支店		000 その他		
	TES 太平洋販売株式会社		TES 太平洋販売株式会社		
2					
	借方合計	100	貸方合計	100	
			貸借差額	0	

[新規 : 2015/05/20 8:52:02] : 汎用データ受入

口座の補助科目セットされる仕訳(初期設定)

初期設定は、以下表の口座に「○」がある箇所に補助科目コードがセットされ仕訳されます。

◇ 入金系の仕訳 口座初期設定

※以下は売掛金に対する入金の仕訳例です。

処理	伝区	借方科目/コード	口座	貸方科目/コード	口座
掛入金	振込入金	当座預金/110	○	売掛金/135	
	振込料	支払手数料/753		売掛金/135	
	現金入金	現金/100		売掛金/135	
	小切手入金	現金/100		売掛金/135	
	手形入金	受取手形/130		売掛金/135	
	値引	売上値引・戻り/515		売掛金/135	
	相殺	買掛金/305		売掛金/135	

◇ 支払系の仕訳 口座初期設定

※以下は買掛金に対する支払の仕訳例です。

※未払金は「未払金管理オプション」使用時のみ出力されます

処理	伝区	借方科目/コード	口座	貸方科目/コード	口座
掛支払	振込支払	買掛金/305		当座預金/110	○
	振込料	支払手数料/753		買掛金/305	
	現金支払	買掛金/305		現金/100	
	小切手支払	買掛金/305		当座預金/110	○
	手形支払	買掛金/305		支払手形/300	
	値引	買掛金/305		仕入値引・戻し/612	
	未払金	未払金/315		買掛金/305	

② 画面での口座設定方法

- ◇ 口座登録画面：マスタ管理タブ ⇒ 口座登録
 奉行 i 8側に登録している預金科目の補助科目コードを指定します。
 英数字で、運用設定で指定した桁数まで（最大4桁）指定できます。

口座登録							
削除	コード	口座名	銀行カナ名	支店カナ名	口座カナ名義	奉行補助	
1	<input type="checkbox"/> 0001	りそな銀行吹田支店・普通	リソナバンク	スイデン	リソナバンクがイマ		9 位

【注意点】

- 奉行で口座の補助科目コードを数字のみで指定した場合、先頭に0が自動付加されます。
 ふくろう側で同様に数字のみで指定する場合は、先頭の0詰め指定は不要です。
 （インポート時に自動で0が付加され判定されます）
- 異なる口座で同じ補助科目コードを指定することは可能です。
 登録ボタン押下時に重複チェックされ、重複している場合は警告が表示されますが
 そのまま登録も可能です。

③ ふくろう販売での口座の採用方法

ふくろう販売では入金、支払入力画面で指定された「取引口座」から普通預金か当座預金かを判定します。
 同時に選択したその口座に設定されている「補助科目コード」を仕訳にセットします。

入金入力									
伝票指定									
仮伝票No		4		入金伝票種類		通常入金			
請求先		1		テスト得意先					
基本情報									
入金日		2015/06/30		請求締日		2015/06/30		売上回収予定日	
担当者		9999		管理者		事業所		本社	
手形サイト		0日		手					
摘要				外貨手					
売上伝票指定(\$)				売上合計(円)		0		売上合計(外貨)	
						0		通貨	
JPY									
明細情報									
行No	削除	伝区	取引口座	口座種別	入金額				
1	<input type="checkbox"/>	振込入	りそな銀行吹田支店・普通	普通	100				
*	<input type="checkbox"/>	振込入			0				

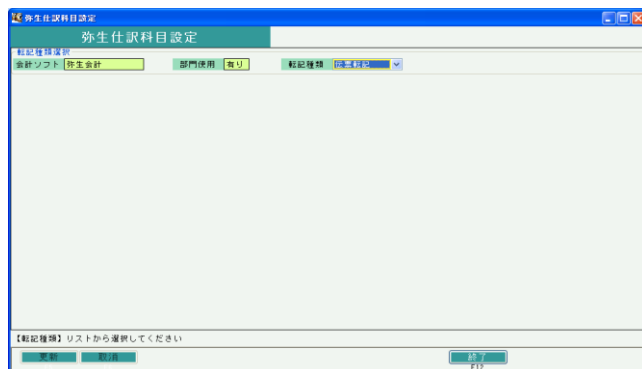
選択した口座より口座種別（当座・普通）を判定し勘定科目を決定し、
 同時に奉行補助科目コードを採用して仕訳されます。

口座登録							
削除	コード	口座名	口座種別	口座番号	銀行カナ名	支店カナ名	口座カナ名義
1	<input type="checkbox"/> 0001	りそな銀行吹田支店・普通	普通	1234567	リソナバンク	スイデン	リソナバンクがイマ
2	<input type="checkbox"/> 0002	りそな銀行吹田支店・当座	当座	1234568	リソナバンク	スイデン	リソナバンクがイマ

4) 仕訳科目の設定手順

会計ソフトとの仕訳連動する場合、基準となる仕訳を各伝票ごとに設定しておきます。
当メニューは運用設定の会計連動設定にて「連動会計ソフト」を設定してある場合のみ、使用することができます。

①会計連動メニューの仕訳科目設定を起動します。



② 仕訳で使う転記種類を以下から選択します。 通常仕訳で使用しない転記種類は設定しておく必要はありません。

- ◆ 伝票転記・・・各伝票・伝票区分ごとに仕訳伝票を作成します。
仕訳の伝票日付はふくろうの伝票日付と同日になります。
- ◆ 日別転記・・・伝票種類・伝票区分・各伝票日付ごとに仕訳伝票を作成します。
仕訳の伝票日付はふくろうの伝票日付と同日になります。
- ◆ 取引先別転記・・・指定した期間を合算し、伝票種類・伝票区分・取引先ごとに仕訳伝票を作成します。
取引先を使用していない仕訳は合計転記と同様の仕訳です。
仕訳の伝票日付は仕訳作成時の出力範囲Toの日付と同日になります。
- ◆ 合計転記・・・指定した期間を合算し、伝票種類・伝票区分ごとに仕訳伝票を作成します。
仕訳の伝票日付は仕訳作成時の出力範囲Toの日付と同日になります。

③ 転記種類を選択すると、設定されている伝票ごとの一覧が表示されます。

④ 仕訳はどの転記方法であろうが、必ず伝票区分(伝区)ごとに設定する必要があります。 設定は対象となる伝区の編集ボタンクリックにて設定画面が開きます。



編集画面から当画面に戻った後は必ず「更新」ボタン押下して終了してください。
更新せず画面閉じると、編集画面で指定した内容が更新されません。

◇ 仕訳科目設定 — 個別設定画面

伝区ごとの仕訳科目を設定します。

⑤ 上図 太枠内を入力します。

項目名	説明
借方(貸方)部門	チェックON時は部課マスタの奉行部門コードを仕訳の部門としてセットします。 ただし、運用設定の会計連動設定にて仕訳部門使用が「しない」になっている場合は部門ごとに仕訳されません。 チェックOFF時はテキストボックスに入力された名称を部門としてセットします。
借方(貸方)科目	仕訳時の借方(貸方)勘定科目コードを指定します。
借方(貸方)取引先	仕訳時に取引先をセットするかどうかを選択します。 セットする場合は、「得意先」「仕入先」「受注の得意先」から選択します。 取引先詳細については2-「2）得意先登録、仕入先登録での設定」を参照してください。
摘要	仕訳時に固定でセットしたい文字列がある場合は指定します。 セットされている場合は、仕訳作成処理時に選択した摘要文字は無視されます。
付箋色 付箋文字	奉行で仕訳に設定できる付箋の色を、赤・青・気・橙、緑、紫から選択します。 設定しておく、奉行側の検索で、取込した仕訳だけを検索するのに便利です。 また、付箋にメモできる付箋文字にセットする固定文字列も指定できます。

振込入金などの口座を指定するのが前提となっている科目箇所では、「口座使用」チェックがあります。
チェックOnにすると入金入力や支払入力で口座選択時、その口座の種別が当座か普通かで仕訳する勘定科目を切替できます。

チェックOnの場合は、上段に当座預金の勘定科目、下段に普通預金の勘定科目を指定します。
設定なし、または口座指定なしだった場合は、通常通り借方または貸方科目に指定された勘定科目で仕訳されます。

【注意点】

- ◆ 入金の相殺について・・・
入金の相殺の仕訳は 買掛金／売掛金 としても問題ありません。
この場合、仕訳リストには消費税が表示されますが、会計ソフトに取り込んだ際に無視されます。
- ◆ 返品や値引の逆仕訳
返品や値引きは売上時に金額がマイナスで入力されています。
通常は 売掛金 / 売上高 で金額マイナスで仕訳される場合もありますが、ふくろう販売では金額プラスで 売上値引き及び戻し高／売掛金 のような逆仕訳を前提としています。
- ◆ 画面に「自動」というタブがありますが、これはシステムが自動作成する消費税伝票の仕訳です。
実際に設定が必要となるのは以下となります。

伝区		内容	初期設定	
コード	名称		借方科目	貸方科目
961	税掛伝	掛売上に対する伝票毎税の端数調整税の仕訳です。	売掛金(135)	売上高(500)
965	税掛伝	掛仕入に対する伝票毎税の端数調整税の仕訳です。	仕入高(604)	買掛金(305)
971	税現伝	現金売上に対する伝票毎税の端数調整税の仕訳です。	現金(100)	売上高(500)
975	税現伝	現金仕入に対する伝票毎税の端数調整税の仕訳です。	仕入高(604)	現金(100)
981	税前伝	前受売上に対する伝票毎税の端数調整税の仕訳です。	前受金(340)	売上高(500)
985	税前伝	前払仕入に対する伝票毎税の端数調整税の仕訳です。	仕入高(604)	前払金(170)
991	税掛請	掛売上に対する請求時一括の消費税の仕訳です。	売掛金(135)	売上高(500)
992	税前請	前受売上に対する請求時一括の消費税の仕訳です。	前受金(340)	売上高(500)
995	税掛支	掛仕入に対する支払時一括の消費税の仕訳です。	仕入高(604)	買掛金(305)
996	税前支	前払仕入に対する支払時一括の消費税の仕訳です。	仕入高(604)	前払金(170)

※ コード961～985は、得意先や仕入先の税処理が伝票毎税の場合に発生する区分となります。
例えば以下のように¥70の明細が3行あった場合、各明細の消費税は内部的に¥5となります。
しかし、全金額の合計に対する消費税は¥16となるため¥1の差異が発生します。
その差異を調整するため、内部的に調整税の明細を追加しています。
仕訳作成の場合に、この調整税の仕訳を決定するのがコード991～985となります。

行no	伝区	入力金額	明細消費税	※税端数は切捨てとします
1	掛売上	¥70	¥5	
2	掛売上	¥70	¥5	
3	掛売上	¥70	¥5	
256	税掛伝		¥1	→調整税行が内部的につくられます
合計		¥210	¥16	

仮受消費税、仮払消費税で仕訳しない理由

本来消費税の科目は売上や仕入ではなく仮受消費税や仮払消費税となりますが、会計ソフト側では税込、税抜表示が選択され、税込の場合は、売上高や仕入高科目の税額含めて表示されます。仮受消費税や仮払消費税で仕訳すると、この切換え表示ができなくなりますのでふくろうからの仕訳では、消費税も売上高や仕入高で仕訳をし、内部的には全額消費税額としてセットして仕訳しています。

例) ○○商事の請求時一括消費税が100円だったときの仕訳

※全額消費税としているため、税抜表示すると売上高は¥0となります。

借方科目	金額	貸方科目	金額	
取引先		取引先	(内消費税額)	
売掛金	100円	売上高	100円	
○○商事		○○商事	(100円)	⇒全額消費税セット

【14】-1. 会計連動オプション（勘定奉行i8）

仕訳科目 初期設定内容まとめ

主な項目の初期設定内容

◇ 売上、入金

処理	伝区	借方科目/コード	部門	口座	取引先	貸方科目/コード	部門	口座	取引先
掛売上	掛売上	売掛金/135			得意先	売上高/500	○		得意先
	掛返品	売上値引・戻り/515	○		得意先	売掛金/135			得意先
	掛値引	売上値引・戻り/515	○		得意先	売掛金/135			得意先
	掛経費	売掛金/135			得意先	雑収入/820	○		得意先
現金売上	現金売上	現金/100			得意先	売上高/500	○		得意先
	現金返品	売上値引・戻り/515	○		得意先	現金/100			得意先
	現金値引	売上値引・戻り/515	○		得意先	現金/100			得意先
	現金経費	現金/100			得意先	雑収入/820	○		得意先
掛入金	振込入金	当座預金/110		○	得意先	売掛金/135			得意先
	振込料	支払手数料/753	○		得意先	売掛金/135			得意先
	現金入金	現金/100			得意先	売掛金/135			得意先
	小切手入金	現金/100			得意先	売掛金/135			得意先
	手形入金	受取手形/130			得意先	売掛金/135			得意先
	値引	売上値引・戻り/515	○		得意先	売掛金/135			得意先
	相殺	買掛金/305			仕入先	売掛金/135			得意先

◇ 仕入、支払

掛仕入	掛仕入	仕入高/604	○		受注得意先	買掛金/305			仕入先
	掛仕返品	買掛金/305			仕入先	仕入値引・戻し/612	○		受注得意先
	掛値引	買掛金/305			仕入先	仕入値引・戻し/612	○		受注得意先
	掛経費	雑費/782	○		受注得意先	買掛金/305			仕入先
	諸経費 ※1	(ダミー)/9999			受注得意先	未払金/315	○		仕入先
現金仕入	現金仕入	仕入高/604	○		受注得意先	現金/100			仕入先
	現金返品	現金/100			仕入先	仕入値引・戻し/612	○		受注得意先
	現金値引	現金/100			仕入先	仕入値引・戻し/612	○		受注得意先
	現金経費	雑費/782	○		受注得意先	現金/100			仕入先
掛支払	振込支払	買掛金/305			仕入先	当座預金/110		○	仕入先
	振込料	支払手数料/753	○		仕入先	買掛金/305			仕入先
	現金支払	買掛金/305			仕入先	現金/100			仕入先
	小切手支払	買掛金/305			仕入先	当座預金/110		○	仕入先
	手形支払	買掛金/305			仕入先	支払手形/300			仕入先
	値引	買掛金/305			仕入先	仕入値引・戻し/612	○		仕入先
	未払金 ※2	未払金/315			仕入先	買掛金/305			仕入先

【14】-1. 会計連動オプション（勘定奉行i8）

- ※1 仕入伝票の諸経費は「未払金管理オプション」ご利用時のみ使用される伝区です
借方科目には9999が設定されていますが、実際には商品マスタで登録した諸経費の借方科目、補助科目（必要であれば）が設定されます。

未払金管理オプションを利用している場合、「諸経費区分」「（諸経費の）借方科目」「（諸経費の）補助科目」を商品登録で指定できます。

諸経費チェックがONの商品は仕入伝票で「諸経費」伝区の明細行に商品を指定できます。
作成される仕訳データの借方科目、借方補助には商品登録の内容が出力されます。

- ※2 支払伝票で入力した未払金は、支払の伝区にはありませんが、仕訳データは未払金のみ集計、出力されます。（「未払金管理オプション」利用時のみ、支払入力で未払金の入力が可能です）

支払に未払金伝区はないため、仕訳設定はできません。作成される未払金の仕訳には下記の内容が設定されます。

借方科目	仕入「諸経費」伝区の貸方科目（初期設定 未払金/315）
借方取引先	（出力なし）
貸方科目	仕入「掛仕入」伝区の借方科目（初期設定 買掛金/305）
貸方取引先	仕入先の奉行取引先

【14】-1. 会計連動オプション（勘定奉行i8）

◇ 自動（消費税）

処理	伝区	借方科目/コード	部門	口座	取引先	貸方科目/コード	部門	口座	取引先
消費税	税掛伝	売掛金/135			得意先	売上高/500	○		得意先
	税掛伝	仕入高/604	○		受注得意先	買掛金/305			仕入先
	税現伝	現金/100			得意先	売上高/500	○		得意先
	税現伝	仕入高/604	○		受注得意先	現金/100			仕入先
	税掛請	売掛金/135			得意先	売上高/500	○		得意先
	税掛支	仕入高/604	○		仕入先	買掛金/305			仕入先
	税未支	仕入高/604	○		仕入先	未払金/315			仕入先

3. 会計連動 仕訳作成手順

会計ソフトとの仕訳連動するためのテキストデータを出力できます。

また、作成した仕訳リストの発行もできます。

当メニューは運用設定の会計連動設定にて「連動会計ソフト」を設定してある場合のみ、使用することができます。

1) 仕訳作成手順

①会計連動メニューの仕訳作成を起動します。

運用設定の指定してある税算出法が表示されます。

- ◆ 一括税＝伝票単位
- ◆ 調整税＝行単位

以下の各設定をします。各設定値は実行処理時に前回値記憶されます。

- ◆ 出力区分にて「未転記分」か「転記済分」を選択できます。
一度転記した伝票を修正した場合、その伝票は未転記となります。

【注意点】

転記済分で転記する場合は、過去に仕訳したデータ全て出力されるため注意が必要です。
なるべく出力期間を限定して出力してください。
勘定奉行で再度インポートする場合は、該当日でインポートした仕訳を勘定奉行側一旦全て削除後再度インポートすることをお勧めします。

- ◆ 出力期間を範囲指定します。期間内にある伝票日付をもつ各伝票が対象となります。
(伝票の更新日付ではなく伝票日付が対象となります)
履歴ボタンを押すことで、過去に出力済みの期間を確認することもできます。

【注意点1】

売上日を変更した場合、変更後の売上日が出力範囲に含まれるとその仕訳が作成されます。
仕訳は変更前の売上日の赤伝と、変更後の売上の黒伝で作成されます。
そのため、売上日を過去に変えた場合は仕訳が漏れる可能性があり、特に注意が必要です。
対応として未転記分を仕訳する場合は、出力範囲は常に期首日～期末日指定で日々実行、仕訳することをお勧めします。

- ・4月2日指定で仕訳し転記した後、売上日を4月1日に変更したとします。
- ・4月2日指定で仕訳すると、4月1日の伝票が取得できず赤黒仕訳がされません。。
- ・結果、会計ソフト側には4月2日の売上が残ったままとなります。
- ・対応として、日々の仕訳作成は期首日～期末日を常に指定しておけばこの問題は発生しません。

変更前: 4月2日

変更後: 4月1日

【注意点2】

決算日をまたがる出力範囲を指定して実行した場合、自動的に決算日ごとの仕訳データに分割して作成されます。そのとき、以下のようなメッセージが通知されます。

売上日を決算日またいで翌期に修正した場合も修正後の売上日で仕訳作成すれば前期の赤伝と今期の黒伝が別ファイルで自動作成されます。

- ◆ 転記種類を各伝票ごとに選択します。
仕訳しない伝票は「出力なし」を選択します。

仕訳データは伝票の1明細が1行ずつに仕訳されるのではなく、設定した単位で集計されて仕訳されます。

集計単位は以下の4つから選択でき、各単位ごとに科目設定ができます。

※①から④の順で仕訳行数は少なくなります。

※仕訳作成時は、売上、仕入、入金、支払ごとに集計単位を別で仕訳できます

- ◆ 伝票転記・・・各伝票・伝票区分ごとに仕訳伝票を作成します。
仕訳の伝票日付はふくろうの伝票日付と同日になります。
- ◆ 日別転記・・・伝票種類・伝票区分・各伝票日付ごとに仕訳伝票を作成します。
仕訳の伝票日付はふくろうの伝票日付と同日になります。
- ◆ 取引先別転記・・・指定した期間を合算し、伝票種類・伝票区分・取引先ごとに仕訳伝票を作成します。
取引先を使用していない仕訳は合計転記と同様の仕訳です。
仕訳の伝票日付は③出力期間Toの日付と同日になります。
- ◆ 合計転記・・・指定した期間を合算し、伝票種類・伝票区分ごとに仕訳伝票を作成します。
仕訳の伝票日付は③出力期間Toの日付と同日になります。

- ◆ 複合仕訳するかどうかチェックできます。
仕訳作成時、借方もしくは貸方で同一科目が複数行存在する場合、複合仕訳とするかどうか選択できます。

複合仕訳は以下の例の様に仕訳するかどうかで選択してください。

※振替伝票のように、1:Nや2:3などの仕訳を可とするかの設定です。

- ◆ 複合仕訳OFF

普通預金	1000円	／ 売掛金	1000円
現金	100円	／ 売掛金	100円
- ◆ 複合仕訳ON

普通預金	1000円	／ 売掛金	1100円
現金	100円	／	

- ◆ 摘要文字の設定について
仕訳作成時、売上、仕入、入金、支払それぞれでどういった文字列をセットするか選択できます。
指定できるパターンは以下となります。

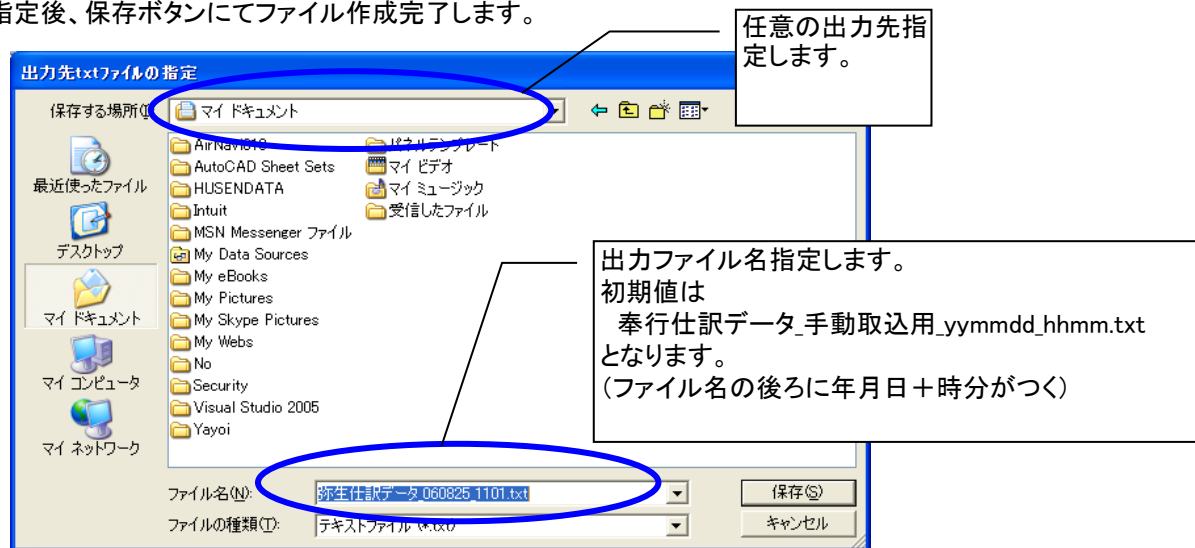
- ◆ 売上傳票の場合
 - ・ 得意先コード＋売上傳票No＋売上データNo
 - ・ 得意先略名＋売上傳票No＋回収予定日
 - ・ 売上傳票の摘要1＋摘要2
- ◆ 入金伝票の場合
 - ・ 得意先コード＋入金伝票No＋売上データNo
 - ・ 得意先略名＋入金伝票No＋回収予定日
 - ・ 入金伝票の摘要1＋摘要2
- ◆ 仕入伝票の場合
 - ・ 仕入先コード＋仕入伝票No＋仕入データNo
 - ・ 仕入先略名＋仕入伝票No＋決済予定日
 - ・ 仕入伝票の摘要1＋摘要2
- ◆ 支払伝票の場合
 - ・ 仕入先コード＋支払伝票No＋支払データNo
 - ・ 仕入先略名＋支払伝票No＋決済予定日
 - ・ 支払伝票の摘要1＋摘要2

ただし、仕訳科目設定で摘要の固定文字をセットしてある伝票の場合は上記設定は無視され、固定文字が出力されます。

【14】-1. 会計連動オプション（勘定奉行i8）

- ② すべての設定が完了したら「実行」ボタンで仕訳データ作成します。

実行ボタンを押すと、出力先とファイル名指定の画面が開きます。
指定後、保存ボタンにてファイル作成完了します。



- ③ 実行終了し、対象の仕訳データが存在した場合は「印刷」ボタンが押せるようになります。
印刷ボタンを押すと仕訳作成リストがプレビュー表示されます。
プリントアウトして保管することをお勧めします。

奉行仕訳作成

保存(S) 印刷(R) 前ページ(P) 次ページ(N) 1/2 100 %

奉行仕訳作成リスト

伝票日付	伝票番号	借方部門 貸方部門	借方科目 貸方科目	借方補助 貸方補助	借方金額 貸方金額	借方税額 貸方税額	借方税区分 貸方税区分	借方税計算 貸方税計算	借方取引先 貸方取引先	付属色	履歴 付属文字
2015/06/08	103281	3	604		5,000,000	400,000	0010	1			伝票毎外税 103281(100288)
			305		5,400,000	0					0: 差
2015/06/08	103281	3	315		300,000	0	0001	1			伝票毎外税 103281(100288)
			752		300,000	0					5: 差
2015/06/08	103281	3	305		948,000	48,000	0010	1			伝票毎外税 103281(100288)
						0					5: 差

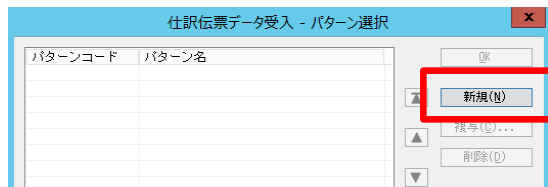
※画面下の「履歴」ボタンをクリックすると、仕訳作成履歴を確認できます。

2) 仕訳インポート手順

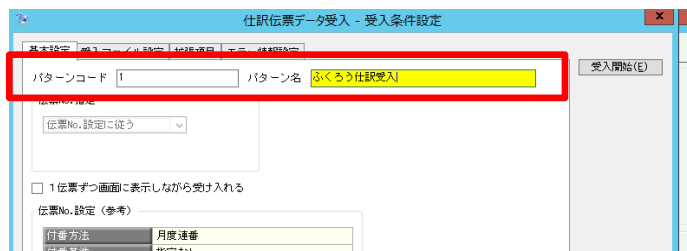
運用開始後初めてインポートする場合

・初めてインポートする場合、以下の方法にてインポート形式の設定が必要となります。

- ① 勘定奉行メニュー「随時処理」⇒「4. 汎用データ受入」⇒「3. 仕訳伝票データ受入」⇒「1. 仕訳伝票データ受入」を起動します。
- ② 以下の画面で「新規」をクリックします。



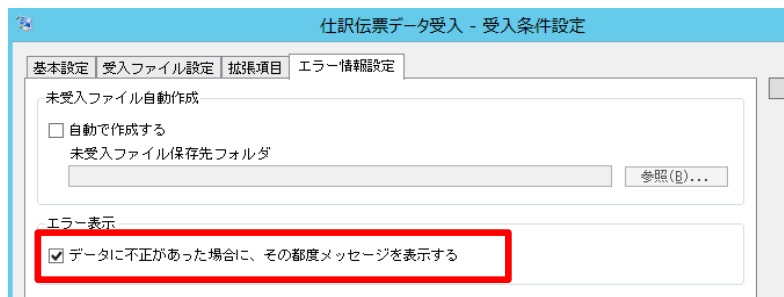
- ③ 基本設定タブで、任意のパターンコード、パターン名を指定します。



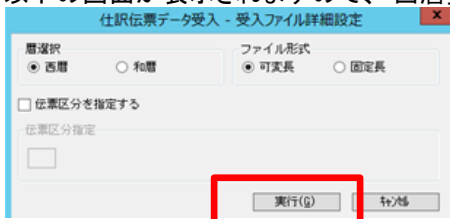
- ④ 受入ファイル設定タブで、「受入データ形式」で「[100] OBC受入形式」を選択します。
受入元ファイル名の箇所「参照」ボタン押下し、ふくろうから出力した仕訳データを選択します。



- ⑤ エラー情報設定タブで「データに不正があった場合に、その都度メッセージを表示する」をチェックOnにします。
当チェックOnにすることで、インポート中にエラー発生した場合に処理を中断できるため、インポートできたデータとできなかったデータの混在を防止できます。



- ⑥ 右上の「受入開始」ボタンを押下します。
以下の画面が表示されますので、「西暦」「可変長」のまま「実行」を押下します。



【14】-1. 会計連動オプション（勘定奉行i8）

- ⑦ 正常終了すると、以下ように「受入済データ」件数が画面が表示されます。

仕訳伝票データ受入 - 受入結果確認

確認内容 | 印刷設定 | プリント設定

汎用データ受入が終了しました。
受入結果を確認できます。

内容確認

- ☒ 受入済データ

伝票件数	1 件
ファイルの行数	1 行
- ☐ 未受入データ

伝票件数	0 件
ファイルの行数	0 行

印刷(P) | プレビュー(I) | 転送(E)...

仕訳処理画面で確認すると、以下のように正常に取込できていることが確認できます。

仕訳処理

〇ＢＣ商事株式会社 会計期間：2015年 4月 1日 ～ 2016年 3月 31日

参照 | 通常伝票 | 振替伝票 | 伝票件数 | 1 | 明細件数 | 1

伝票日付：15 年 5 月 1 日 伝票No.：000001

行	部 門 / 勘定科目 / 補助科目	借 方 金 額	部 門 / 勘定科目 / 補助科目	貸 方 金 額	摘 要
	取引先		取引先		
1	000 その他		001 第一営業部		01 12(12)
	135 売掛金	210	500 売上高	210	
	000 その他			0	
	00000001 太平洋販売株式会社		00000001 太平洋販売株式会社		
2					
	借方合計	210	貸方合計	210	
			貸借差額	0	

[新規：2015/05/19 16:25:11] : 汎用データ受入

F1 操作説明 | F2 伝票発行 | F3 付箋 | F4 前伝票 | F5 次伝票 | F6 複写 | F7 削除 | F8 反対仕訳 | F9 修正 | F10 中止 | F11 | F12 閉じる

何かデータに問題があると以下の確認メッセージが表示されます。
 全件中止したい場合は「はい」を押下して処理を中断し、エラー原因を取り除いて、再度インポートしてください。
 再度インポートする場合は転記済分で出力することとなりますが、過去に取込済のデータを再取込しないよう運用に注意が必要です。（場合によっては勘定奉行へ手入力で仕訳入力することをお勧めします）

仕訳伝票データ受入

2行目の内容が正しくありません。
(マスターが存在しないか、有効期間外です。)

受け入れを中止しますか？

☐ 今後、この画面を表示しない

はい(Y) | いいえ(N)

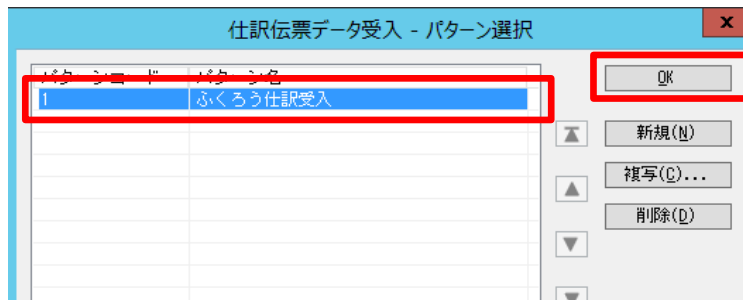
未受入データが存在した場合、「プレビュー」ボタンでエラー内容を確認できます。

未 受 入 リ ス ト				
〇ＢＣ商事株式会社		PAGE: 1		
仕訳伝票データ受入		〇ＢＣ受入形式 印刷日付：2015年 5月19日		
行	受入記号	エラー項目名	エラーデータ	エラー内容
2	CSJS005	日付	2015/05/01	会計期間外の日付です。
3	CSJS005	日付	2015/05/19	会計期間外の日付です。
4	CSJS005	日付	2015/05/18	会計期間外の日付です。

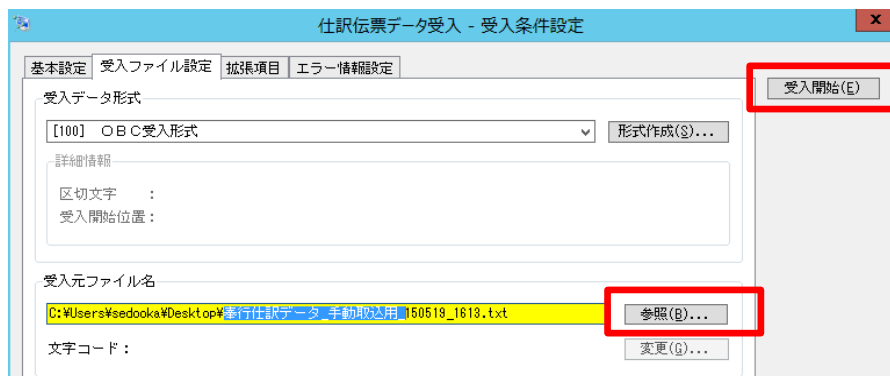
未 受 入 リ ス ト				
〇ＢＣ商事株式会社		PAGE: 1		
仕訳伝票データ受入		〇ＢＣ受入形式 印刷日付：2015年 5月19日		
行	受入記号	エラー項目名	エラーデータ	エラー内容
2	CSJS208	借方取引先コード	TESTES	マスターが存在しないか、有効期間外です。

2回目以降の仕訳受入方法

- ・次回インポートからは以下のように登録したパターンが表示されますので、選択して「OK」ボタン押下します。



受入元ファイル名で「参照」ボタン押下しインポートするファイルを選択します。
「受入開始」ボタンでインポートされます。



仕訳連動に関する注意点、補足

- ・ 仕訳時の税区分は奉行の科目登録で設定されている税区分が自動適用されますが、消費税額はふくろう販売側で仕訳にセットされます。
(奉行側で再計算されません)
- ・ 設定されている連動用の補助科目、取引先、部門や仕訳設定科目は、仕訳作成処理時に都度最新のものが採用されます。
設定を途中で変更した場合、過去の仕訳を再作成すると、最新の設定で仕訳されますので注意してください。
- ・ 勘定奉行側では、同一伝票のインポート重複チェックはできません。
同じ仕訳ファイルを何度もインポートすることが可能で、インポートする度に仕訳が重複されますので注意してください。
- ・ 取引先や部門、口座が増えた場合は、ふくろう販売と勘定奉行の両方に登録する必要があります。
ふくろう販売のみに登録して仕訳した場合、インポート時にエラーとなります。
- ・ 勘定奉行でインポートしても、元のファイルは自動で削除されません。
インポートしたデータは別フォルダに移動するなどの運用をお勧めします。
(2重取込の防止)
- ・ 出力ファイル名の最後尾には時分が付加されています。
そのため、連続で出力した場合、同一分内であれば同じファイル名で上書きされる場合がありますので注意してください。